

仙台高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語 B II
科目基礎情報						
科目番号	0019		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	名取キャンパス一般科目		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	Zoom English Grammar 27					
担当教員	武田 淳					
到達目標						
基本的な英文を構造にもとづき正確に理解できるようになる。500語前後のまとまった英文をパラグラフ・リーディングできるようになる。600語前後のまとまった英文をパラグラフ・ライティングできるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基礎的な英文の構造を理解し、正しく解釈することができる。		基礎的な英文の構造を理解することができる。		基礎的な英文の構造を理解することができない。	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	基本的な英文を正確に理解し、読解や発話の場面で運用できるようになる。					
授業の進め方・方法	英文の構造を理解するために演習を行う。毎時間、授業の冒頭で小テストを実施する。事前学習では授業で行う内容について調べておくこと。事後学習では授業で学んだことを振り返ること。事前学習・事後学習ともに、教材は学内のLMSに掲載する。					
注意点	参考書と辞書を活用し、学内LMSに掲載されている教材をもとに予習をして授業に臨むこと。 授業終了後は、学内LMSに掲載されている授業記録をもとに復習すること。 参考書（Zoom総合英語）を活用すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、比較（１）		第2学年としての英語 B II の学習方法がわかる。比較の基礎を理解できる。	
		2週	比較（２）		比較の応用を理解できる。	
		3週	関係詞（関係詞概要）		関係代名詞と関係副詞の概要を理解できる。	
		4週	関係詞（関係代名詞 1）		関係代名詞（主格・目的格）の用法を理解できる。	
		5週	関係詞（関係代名詞 2）		関係代名詞（所有格、前置詞を伴った目的格）を理解できる。	
		6週	関係詞（関係副詞）		関係副詞を理解できる。	
		7週	関係詞（様々な関係詞）		関係代名詞と関係副詞の関連を理解できる。	
		8週	第 1 ～ 7 週のまとめ		第 1 ～ 7 週の学習内容を振り返る。	
	2ndQ	9週	仮定法（１）		仮定法の基本を理解できる。	
		10週	仮定法（２）		仮定法の応用を理解できる。	
		11週	接続詞（総復習）		既習の接続詞を理解し、その用法を説明できる。	
		12週	話法（総復習）		既習の話法を理解し、その用法を説明できる。	
		13週	冠詞（定冠詞と不定冠詞）		既習の冠詞を理解し、その用法を説明できる。	
		14週	第 9 ～ 13 週のまとめ		第 9 ～ 13 週の学習内容を振り返る。	
		15週	前期期末試験			
		16週	前期期末試験の振り返り		前期の学習内容を振り返る	
後期	3rdQ	1週	代名詞（総復習）		既習の代名詞を理解し、その用法を説明できる。	
		2週	形容詞（総復習）		既習の形容詞を理解し、その用法を説明できる。	
		3週	副詞（総復習）		既習の副詞を理解し、その用法を説明できる。	
		4週	前置詞（総復習）		既習の前置詞を理解し、その用法を説明できる。	
		5週	否定（総復習）		既習の否定を理解し、その用法を説明できる。	
		6週	構文（総復習）		既習の構文（５文型）を理解し、その用法を説明できる。	
		7週	構文（５文型以外の構文）		既習の文型（５文型以外）を理解し、その用法を説明できる。	
		8週	第 1 ～ 7 週のまとめ		第 1 ～ 7 週の学習内容を振り返る。	
	4thQ	9週	小論文演習		既習の基礎英文法をもとに、小論文の全体構成を理解できる。	
		10週	パラグラフ・リーディング（１）		200語前後のまとまった英文をパラグラフ・リーディングの手法で理解できる。	
		11週	パラグラフ・リーディング（２）		500語前後のまとまった英文をパラグラフ・リーディングの手法で理解できる。	
		12週	パラグラフ・ライティング（１）		300語前後のまとまった英文をパラグラフ・ライティングの手法で作成し理解できる。	

		13週	パラグラフ・ライティング（２）	600語前後のまとまった英文をパラグラフ・ライティングの手法で作成し理解できる。
		14週	第９～１３週のまとめ	第９～１３週 の学習内容を振り返る。
		15週	後期期末試験	
		16週	後期期末試験の振り返り	後期の学習内容を振り返る

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど）を適切に用いることができる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	10	0	0	0	0	100
基礎的能力	90	10	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0